

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年12月24日(2024.12.24)

【公開番号】特開2023-117222(P2023-117222A)

【公開日】令和5年8月23日(2023.8.23)

【年通号数】公開公報(特許)2023-158

【出願番号】特願2022-19818(P2022-19818)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

A 63 F 7/02 315 A

【手続補正書】

【提出日】令和6年12月16日(2024.12.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を制御可能な遊技制御手段と、画像を表示可能な表示部において演出を制御可能な演出制御手段と、を備え、

前記遊技制御手段は、所定の判定処理での判定に基づいて、大当たり遊技状態に制御可能であり、遊技者に付与される賞球数に基づく特定計測数を計測可能であり、前記大当たり遊技状態に制御されているときに前記特定計測数が予め定められた基準数以上であって当該大当たり遊技状態が終了すると、遊技を実行不能に制御可能であると共に、外部に所定外部信号を出力可能である遊技機であって、

30

前記演出制御手段は、

前記大当たり遊技状態に制御されているときに前記特定計測数が予め定められた基準数以上であって当該大当たり遊技状態が終了すると、前記表示部にて、遊技が実行不能になったことを示す遊技不能報知演出を実行可能であり、

前記特定計測数が前記基準数に達するまでの残りの前記特定計測数である残り特定計測数が所定値以下になっていることを条件に、前記表示部にて、遊技が実行不能に制御される可能性が高まっていることを認識可能な事前報知演出を実行可能であり、

前記遊技不能報知演出の表示態様は一定である一方、前記事前報知演出の表示態様は変化可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の遊技機は、

遊技を制御可能な遊技制御手段と、画像を表示可能な表示部において演出を制御可能な演出制御手段と、を備え、

前記遊技制御手段は、所定の判定処理での判定に基づいて、大当たり遊技状態に制御可能であり、遊技者に付与される賞球数に基づく特定計測数を計測可能であり、前記大當

50

り遊技状態に制御されているときに前記特定計測数が予め定められた基準数以上であって当該大当たり遊技状態が終了すると、遊技を実行不能に制御可能であると共に、外部に所定外部信号を出力可能である遊技機であって、

前記演出制御手段は、

前記大当たり遊技状態に制御されているときに前記特定計測数が予め定められた基準数以上であって当該大当たり遊技状態が終了すると、前記表示部にて、遊技が実行不能になったことを示す遊技不能報知演出を実行可能であり、

前記特定計測数が前記基準数に達するまでの残りの前記特定計測数である残り特定計測数が所定値以下になっていることを条件に、前記表示部にて、遊技が実行不能に制御される可能性が高まっていることを認識可能な事前報知演出を実行可能であり、

前記遊技不能報知演出の表示態様は一定である一方、前記事前報知演出の表示態様は変化可能であることを特徴とする。

10

20

30

40

50